

2017 年 3 月 7 日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

国内最大級 FinTech ピッチコンテスト「FIBC2017」の大賞が決定

～国内部門は『Authlete』、海外部門は『TradeIt』～



FIBC2017 登壇者

国内最大級の FinTech ピッチコンテストである「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2017」が 3 月 3 日に都内で開催され、大賞を含む各賞が決定しました。先進金融サービスを提供する 29 社(国内 14 社、海外 15 社)による熱のこもったピッチが繰り広げられた結果、FIBC 大賞は、国内部門は株式会社 Authlete の『Authlete(オースリート)』、海外部門は TradeIt, Inc.の『TradeIt(トレードイト)』が獲得しました。

FIBC は、株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井節生、以下 ISID)が主催する FinTech 領域に特化したイベントで、FinTech スタートアップ企業・金融機関・ベンチャーキャピタルの交流の場として 2012 年から毎年開催しています。メインプログラムのピッチコンテスト「FinPitch」には、例年未発表サービスも含めた先進金融サービスが多数登場し、FinTech の最新トレンドが出揃う場となっています。6 回目となる今回は、Level39、Plug and Play、SuperCharger、Stone & Chalk など海外の著名なアクセラレータやインキュベーションセンターおよび各国大使館の協力のもと、登壇企業の半数以上が海外スタートアップ企業となる、全編英語の本格的なグローバルイベントとして過去最大規模で開催しました。今年の特徴としては、送金、カード決済、ロボアドバイザー、認証、セキュリティなどの幅広い分野で既存の金融サービスと連携して新たな付加価値を提供するようなサービスが多く見られました。

各賞の選出は、今回から国内部門・海外部門に分けて行い、FIBC 大賞は、「金融市場へのインパクト」「経営陣の資質」「ビジネスモデルの革新性」「ビジネスの成長性」「グローバルサービスとなる可能性」の 5 つの観点で、審査員の採点により最も評点の高いサービスに贈られます。この他、来場者投票による「オーディエンス賞」など各賞が贈られます。

受賞サービスの概要は次のとおりです。

FIBC 大賞

【国内】

『Authlete』（株式会社 Authlete） <https://www.authlete.com>

<サービス概要>

サードパーティーアプリケーションから Web API へのアクセス制御を行うために必要とされる『認可』の仕組みを提供するクラウドサービス。認可の標準規格である『OAuth 2.0』と、認証の標準規格である『OpenID Connect』に準拠しており、銀行 API の公開を含む様々なユースケースに対応可能。また、どのような認証技術とも組み合わせることができるため、既存の認証技術を生かしたまま、セキュアかつ高機能な認可サーバー／OpenID プロバイダーを短期間で実装することができる。



Authlete 共同創設者
アリ・アドナン氏(右)

<審査員コメント>

「Authlete を大賞に選んだ理由は、ハイテクかつ、これまでにないサービスだからです。このサービスを通じて多くのスタートアップと金融機関がつながり、Open Bank API を利用した様々なサービスが創出されることが期待される素晴らしいサービスです。」

【海外】

『TradeIt』（TradeIt, Inc.） <https://www.trade.it>

<サービス概要>

どのようなアプリケーション・Web サイト・チャット bot・AI 製品からでも株取引を可能にする API と開発ツールキット(SDK)を提供。

<審査員コメント>

「TradeIt を大賞に選んだ理由の一つは、日本にはないような非常に洗練されたユーザーインターフェースを備えていることです。そしてもう一つは、これまで日本が長年抱えてきた、家庭の貯蓄をどうやって投資に回すのか、という課題の解決策になり得るという点です。FinTech の価値は、社会の大きな問題を解決することにあると言われていますが、まさにそこを捉えたサービスだと思います。」



TradeIt, Inc.共同創設者
ネイサン・リチャードソン氏(右)

その他各賞【国内】

	サービス名／企業名	サービス概要
オーディエンス賞	『FOLIO』 株式会社 FOLIO https://folio-sec.com	身近なテーマで投資先を選定し、テーマに即したポートフォリオに分散投資できるサービス。独自アルゴリズムで投資会社を厳選し、金融工学を応用してポートフォリオを最適分散するため、低リスク、高リターンが期待できる。
QUICK 賞	『FOLIO』 株式会社 FOLIO https://folio-sec.com	同上
ソニーフィナンシャル ホールディングス賞	『ELK』 ウォルト株式会社 https://elk.walt.co.jp	日本円を簡単に送金できるアプリ。クレジットカード入金やユーザー同士の送金で受け取ったお金は、店舗での決済に利用可能。

農林中央金庫賞	『QA Engine』 株式会社 Studio Ousia http://www.qaengine.ai	ユーザーからの自然文で書かれた質問を解析し、即座に回答する高精度な質問応答システム。
審査員特別賞	『AI inside』 AI inside 株式会社 https://inside.ai	企業の基幹システムと独自の手書き文字認識アプリを連動し、口座振込用紙、保険申込書等の様々な手書き書類をデータ化するサービス。

その他各賞【海外】

	サービス名／企業名	サービス概要
オーディエンス賞	『VENTENY』 VENTENY INC. http://venteny.com	東南アジアの企業に向けて、福利厚生を入り口とした FinTech ソリューションを提供。
セブン銀行賞	『soCash』 SOCASH PTE LTD. https://www.socash.io	ATM に替わるデジタルプラットフォーム。銀行のモバイルバンキングを通じて店舗や個人の口座から現金を引き出すことができる。
三菱地所 FINOLAB 賞	『Playbasis Plugin for Mobile Payments』 Playbasis Private Limited https://www.playbasis.com	既存のインターネットバンキングや決済アプリにゲーム・特典サービス機能を提供。これにより決済代行企業へより多くのトランザクションを発生させることが可能。
ISID 特別賞	『Credit Scoring engine』 Friendly Score UK LTD https://friendlyscore.com	ビッグデータを使ったクレジットスコアリングに特化した SaaS ソリューション。借り手のリスクとデフォルト率の評価を分析する。

登壇企業一覧

【国内】

財産ネット株式会社 / MoneySmart 株式会社 / 株式会社カウリス / 株式会社 Good Moneyger / 株式会社マツシュルーム / 株式会社 Authlete / 株式会社クレジットエンジン / AI inside 株式会社 / 株式会社クラウドリアルティ / 株式会社ネストエッグ / 株式会社 FOLIO / スマートアイデア株式会社 / 株式会社 Studio Ousia / ウォルト株式会社

【海外】

APS S.A. / Curfex / Coolpay Pte. Ltd. / TradeIt, Inc. / Ssenstone Inc. / Installments Inc. / SOCASH PTE LTD. / Paycock Co.,Ltd. / Playbasis Private Limited / VENTENY INC. / MOIN, Inc. / Risksave Technologies Ltd. / Call Levels Pte Ltd. / Finatext Ltd. / Friendly Score UK LTD

【FIBC に関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 金融ソリューション事業部 FIBC 運営事務局
TEL: 03-6713-7007 E-Mail: g-finmarketingi@group.isid.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 服部、李、野瀬 TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@isid.co.jp

<ご参考資料>

<関連プレスリリース>

● FIBC 開催・受賞関連

・ISiD、FinTech ビッチコンテスト「FIBC2017」を開催

～海外アクセラレータや各国大使館との連携による過去最大規模のグローバル FinTech イベント～（2017 年 1 月 25 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2017/0125.html>

・ISiD、「金融イノベーションビジネスカンファレンス FIBC2016」の受賞サービスを発表

～FIBC 大賞は AlpacaDB, Inc.の『Capitalico』が受賞～（2016 年 2 月 26 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2016/0226.html>

・ISiD、金融イノベーションに特化した日本初のイベント「FIBC2012」を開催（2012 年 1 月 30 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2012/pdf/0130.pdf>

●FinTech スタートアップ企業への出資、協業関連

・ISiD と不正アクセス検知サービスのカウリスが業務提携

～機械学習を用いた不正アクセス検知を実現する情報セキュリティサービスを提供～（2017 年 3 月 2 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2017/0302.html>

・日本初の FinTech 拠点「FINOLAB」が 2 月 1 日にリニューアル

～企業会員プログラムを刷新、＜みずほ＞が Open Bank API の開発環境を FINOLAB にて提供～（2016 年 10 月 17 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2016/1017.html>

・ISiD、生体認証サービスの Liquid と提携拡大

～高速・カードレスな生体認証による FinTech サービスを本格展開～（2016 年 10 月 6 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2016/1006.html>

・ISiD、日本初の FinTech 産業拠点「Fino Lab」を三菱地所・電通と協業し大手町エリアに開設～FinTech スタートアップの成長を支援、企業・業界を超えたエコシステム創出を加速～（2016 年 1 月 15 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2016/0115.html>

・ISiD、FinTech ベンチャーへ資本参加～第一弾として、住宅ローン借り換えアプリの MFS に出資～（2015 年 9 月 10 日）

<http://www.isid.co.jp/news/release/2015/0910.html>

<電通国際情報サービス(ISiD) 会社概要>

社名	： 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISiD)
代表者	： 代表取締役社長 釜井 節生
本社	： 東京都港区港南 2-17-1
U R L	： http://www.isid.co.jp
設立	： 1975 年
資本金	： 81 億 8,050 万円
連結従業員	： 2,635 名(2016 年 12 月末現在)
連結売上高	： 79,783 百万円(2016 年 12 月期)
事業内容	： 1975 年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営・連結会計、HCM(人財・人事給与就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。